

## 第 67 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 平成 29 年 10 月 25 日 (水) 15:30~16:33
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3A
- 出席者 :
  - 〔学外委員〕
  - 石田委員、今井委員、嶋津委員、長谷川委員、林(康)委員、板東委員
  - 〔学内委員〕
  - 田中学長、増山理事・副学長、横道理事・副学長、小島理事、角南副学長、園部副学長、道下学長特別補佐、宇佐美監事、林(礼)監事、佐藤大学運営局長
- 欠席者 :
  - 〔学外委員〕
  - 奥委員、名取委員、林(文)委員、藪中委員

### I. 審議事項

#### 1. 本学における給与改定について

大学運営局長から、2017年度人事院勧告に対する本学の対応について、国の給与法及び人事院規則が勧告どおり改正されることを前提に、本学教職員・役員の給与・報酬についても勧告どおり改定する予定である旨説明があり、これを了承した。

#### 2. 2017 年度学内補正予算について

大学運営局長から、2017年度学内補正予算について説明があり、これを了承した。

#### 3. 修士課程履修規則及び博士課程履修規則の改正について

増山理事から、修士課程履修規則、博士課程履修規則の改正及びそれに伴う授業科目等取扱規程の制定について説明があり、これを了承した。

#### 4. その他

特になし。

### II. 報告事項

#### 1. 2018 年度概算要求について

大学運営局長から、2018 年度概算要求について、文部科学省から伝達のあった財務省への要求額について報告があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

- ：学長のリーダーシップによるガバナンス強化を目的とする国立大学経営改革促進事業について、予算獲得につながるような取組は検討されているか。
- △：当該事業の検討は行っていないが、その他情報収集を行うとともに、手を挙げられる事業については積極的に検討を行っている。
- ：外部人材の登用については、役員会等マネジメントの部分だけでなく、外部資金の獲得や体外的なアピールにおいても検討の余地があるのではないか。

#### 2. 財務レポートのホームページへの掲載について

大学運営局長から、「GRIPS 財務レポート 2017」の大学ホームページへの掲載について報告があった。

### 3. 20周年記念式典及び同窓会の開催について

横道理事から、11月24日（金）に20周年記念式典及び祝賀会を本学で開催する予定である旨、また、前日の11月23日（祝・木）に同窓会を開催する予定である旨報告があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。（△：本学）

- ：同窓会は何名いるのか。名簿はあるのか。
- △：修了生の名簿はある。全体で4,500名ほど。うち、国内が1,500名程度。
- ：同窓会は将来寄附をしていただくことも考え大事にする必要がある。

### 4. GRIPS 基金について

田中学長から、GRIPS 基金について報告があり、今後の寄附拡大に向けて経営協議会委員の意見を伺いたい旨発言があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。

- ：20周年を契機として、同窓会の体制の整備や外部人材の登用等をプロジェクトとして行い、企業への働きかけや卒業生を含めて大学の教育研究の成果を見せていくなどのフォローアップができないか。
- ：同窓という結びつきがどのくらい在学中からうまれているかということが1つの要になるのでは。その後押しのために、卒業式の日と同窓会を作ってしまうなど、大学の特色を生かしながら、日ごろの結びつきを大切につくりあげていく作業が必要。
- ：現在の段階ではまだ難しいかと思うが、寄附を集めて立派なことをしているという成果を上手にアピールすることが大事。
- ：ファンドレイザーの担当を置き、企業のCSRの窓口を訪問して説明するなどし、少なくとも1年間継続的にトライアルでやることなどを検討する必要がある。企業のCSRの方向性とマッチすれば寄附を獲得できる可能性はある。
- ：GRIPSがどのような学校であるかということを経営協議会のメンバーも深く理解するためには、法定の審議事項だけでなく、大学で実施されていることを随時報告するなどの工夫を是非していただきたい。
- ：東大の公共政策大学院は毎月ニュースレターを出しており、OBや現役の学生、教員がエッセイを書いている。そのようなアイデンティティ作りが必要ではないか。
- ：ランキングについては、どのように考えるべきなのか、GRIPSの一部研究者の研究対象にしていただくのもあり得るのではないか。

### 5. その他

特になし。

以 上